事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和４年　11 月 7 日（　19:00　～　20:　25　）
１．初期支援（はじめのかかわり）	ﾒﾝﾊﾞｰ	小福田、山本、三崎、近藤、戸田、安達、浅野、出原、山田早、赤松、松本、前原、和田、東条、山田暁

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	3 人	9 人	2 人	1 人	15 人

前回の改善計画
・初回利用時の様子や状態をより詳しく申送りノートや口頭伝達で情報交換し、職員全員がしっかり把握してチームで支援していく。 ・ご自宅での様子の変化も積極的に聴かせていただき、ご本人の生活の変化も確認しながら支援していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・初回利用時の状況を申し送りノートに記入したり、口頭で情報伝達をしていた。ただ、細かい内容の申し送りが不足していることもあった。 ・送迎時などご家族と会う機会があったが、時間的な問題もあり、ゆっくりと話をすることが少なかった。

◆今回の自己評価の状

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	3 人	10 人	2 人	0 人	15 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	0 人	12 人	3 人	0 人	15 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	4 人	9 人	2 人	0 人	15 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	2 人	8 人	4 人	1 人	15 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご本人が事業所に慣れるまでの期間、過ごしやすい環境作りに配慮している。（席の配置の検討や、話し相手を一緒にみつけていく等） ・利用開始前にご本人やご家族の希望を聞き取り、生活状況に合わせた支援を検討し支援につなげている。	

できていない点	200 字余以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ご家族と関わる機会が少ないご利用者については、関係作りがなかなか難しい。 ・送迎時にご家族に会う機会はあるが、かたらいでの様子を伝えるのみになってしまい、なかなか自宅での様子まで伺えていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・ご本人だけではなくご家族とも可能な限りコミュニケーションを図り、相談しやすい関係づくりに努める。 ・初回利用日の様子を職員全員が把握する為、利用初日の様子を夕礼の議題に挙げ、当日の様子について詳しく申し送りをしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和４年　11 月 7 日（　19:00　～　20:　25　）
２．「～したい」の実現（自己実現の尊重）	ﾒﾝﾊﾞｰ	小福田、山本、三崎、近藤、戸田、安達、浅野、出原、山田早、赤松、松本、前原、和田、東条、山田暁

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0 人	9 人	6 人	0 人	15 人

前回の改善計画

・コロナ禍だからこそ「～したい」の実現に向け、ご本人の気持ちを汲み取りながら個別支援を充実させる。
・ご利用者とゆっくり関わる時間を意識し、ご本人の思いや気持ちにしっかり寄り添う。

前回の改善計画に対する取組み結果

・送迎時や入浴時など個別に話が出来る時間を利用し、ご本人の気持ちを傾聴した。
・個別のニーズ（～したい）に対する取組があまり出来ていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	0 人	4 人	10 人	1 人	15 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	0 人	4 人	11 人	0 人	15 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0 人	3 人	12 人	0 人	15 人
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	2 人	1 人	11 人	1 人	15 人

できている点　200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・職員間の情報交換で、有効だった事、駄目だった事も参考にしながら関わるようにしている。
・気持ちを言葉に出来ない方に対しては、行動や表情から気持ちを汲み取るようにしている。
・会話の中から「～したい」を聞き取るようにしている。

できていない点　200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・ニーズの把握に個人差があった。
・「～したい」が本人の意思なのか家族の意思なのか分からない事があった。
・支援できる場面も限られており、希望通りにならないこともある。

次回までの具体的な改善計画　（200 字以内）

・日常会話を通じて、ご利用者の『したい事』や『好きな事』などを把握していく。情報を元に行事を計画するなど、個別支援の向上を図る。
・個々と関わる時間を増やし、ご利用者の本意を聞き出せるよう心がける。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和４年　11 月 7 日（　19:00　～　20:　25　）
３．日常生活の支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	小福田、山本、三崎、近藤、戸田、安達、浅野、出原、山田早、赤松、松本、前原、和田、東条、山田暁

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1 人	12 人	2 人	0 人	15 人

前回の改善計画
・「できること」、「喜んだこと」もしっかり申し送って情報を共有し、できる力を大切にしながら日常生活の支援につなげていく。 ・ご利用者の生活スタイルや価値観を尊重し、一人ひとりのリズムに合った生活支援に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
・「出来なかった事」「嫌だった事」等マイナス面がよく夕礼ノートに記入してあり、「できること」「喜んだこと」を申し送るのがつい後回しになっている。 ・一人ずつの生活スタイルを確認しながら、その都度、必要に応じた支援が提供できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	0 人	4 人	8 人	3 人	15 人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	3 人	11 人	0 人	1 人	15 人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	0 人	10 人	4 人	1 人	15 人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	1 人	12 人	2 人	0 人	15 人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	3 人	9 人	3 人	0 人	15 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・申し送りノートを元に、その時のご利用者の状態に合わせた支援内容を提供している。 ・ご家族の要望も取り入れながら、支援内容を検討している。 ・体調の変化やいつもと違う表情の変化は他職員と共有、相談しながら早急な対応をとるように心掛けている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・個別ファイルをしっかりと読み込むことができておらず、「以前の暮らしが 10 個以上」把握できていない方もいる。 ・マイナスの変化については気づきやすいが、プラスの変化については申し送りしていない事が多い。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・夕礼ノートを活用しながら日々の変化を把握し、状況に応じた支援を検討し実施していく。 ・「できること」「喜ばれたこと」に加え、ご本人の興味関心を示したことについてもしっかりと申し送り、ご本人の理解を深める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和４年　11 月 7 日（　19:00　～　20:　25　）
４．地域での暮らしの支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	小福田、山本、三崎、近藤、戸田、安達、浅野、出原、山田早、赤松、松本、前原、和田、東条、山田暁

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0 人	4 人	10 人	1 人	15 人

前回の改善計画
・地域の方々に、かたらいという事業所を知っていただくための情報発信ツールとして、必要に応じてかたらいカードを使用していく。 ・ご利用者と地域との関係性やご本人にとって重要な資源を把握し、地域との関係を絶やさないよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
・かたらいカードを送迎車内に常備していた為、ご近所の方と話をする機会があった際に手渡すことが出来た。また、そのカードが元で事業所に連絡が入るケースもあった。 ・現在、繋がりのある地域との関係を途切れさせないよう、事業所としても可能な限り支援を続けているが、ご利用者によっては地域と結びつけることが難しいケースもある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0 人	8 人	5 人	2 人	15 人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0 人	9 人	4 人	2 人	15 人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0 人	6 人	6 人	3 人	15 人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0 人	2 人	8 人	5 人	15 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・訪問時や送迎時に自宅内の状況を確認し、生活状況を把握するよう努力している。 ・ご家族が別居の場合でも定期受診への同行をお願いしたり、ケアマネを中心に電話連絡を取り合うなど、関係性が途切れないよう心掛けている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・民生委員や地域の活動が把握できていないケースもある。 ・地域活動については現行以上のものがなかなか把握できていない。（追加の情報がなかなか無い）	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・引き続きかたらいカード（事業所の連絡先を記載しているもの）を活用したり、送迎時や訪問時の挨拶をしながら地域との繋がりを続けていく。 ・今の暮らしに必要なキーパーソンを把握し、必要に応じて連絡を取り合いながら情報共有していく。 ・地域資源について、新たに得た情報があればその都度報告していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和４年　11 月 7 日（　19:00　～　20:　25　）
５．多機能性ある柔軟な支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	小福田、山本、三崎、近藤、戸田、安達、浅野、出原、山田早、赤松、松本、前原、和田、東条、山田暁

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	6 人	9 人	0 人	0 人	15 人

前回の改善計画

・勤務前には必ず申送りノートを確認し、わからないことは質問することで、ご利用者の体調の変化やサービス内容の変更に確実に対応していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・職員一人ひとりが夕礼ノートを重要視し確認するようにしていた。また、職員同士で連携をとりながら、日々変動するサービスにおいて適応できるように取り組んでいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0 人	10 人	4 人	1 人	15 人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	0 人	6 人	8 人	1 人	15 人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	6 人	9 人	0 人	0 人	15 人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	6 人	9 人	0 人	0 人	15 人

できている点　200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・申し送りノートや職員から情報を元に支援を行えている。
・ご本人やご家族の要望を聞きながら、事業所として行える支援をその都度検討し支援している。
・ご家族の都合やご本人の体調不良など、急遽希望された支援についても可能な限り対応出来ていた。

できていない点　200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・ご利用者とご家族のニーズに違いがあり、対応に困ることがあった。
・短期間でのサービス内容の変更が多い時に、変更内容を十分把握できていないことがあった。
・地域の資源がなかなか把握出来ていない。その為、資源の活用に繋げられていない。
・地域との関わりが少ない方もいる為、地域との繋がりを見つけていくのが難しいこともある。

次回までの具体的な改善計画　（200 字以内）

・その時の状況、ニーズに合わせた支援を検討し、柔軟に対応していく。
・申し送りノートに疑問に思った事や困っている事も記載しながら、ノートの充実化を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和４年　11 月 7 日（　19:00　～　20:　25　）
６．連携・協働	ﾒﾝﾊﾞｰ	小福田、山本、三崎、近藤、戸田、安達、浅野、出原、山田早、赤松、松本、前原、和田、東条、山田暁

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2 人	8 人	2 人	3 人	15 人

前回の改善計画
・ご利用者が心身ともに安定した生活が継続できるよう、医療機関をはじめ関係機関に積極的に情報を発信、共有していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・看護師が中心となり医療機関との連携を行い、日々の体調変化などにも対応していた。 ・定期受診時以外にも、体調面で気になる事があればかかりつけ医やかかりつけ薬局に電話連絡するなどして連携を図った。 ・ご利用者によっては服薬状況を確認しながら体調面の管理を行ってきた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1 人	6 人	2 人	6 人	15 人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1 人	4 人	2 人	8 人	15 人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1 人	4 人	2 人	8 人	15 人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0 人	2 人	3 人	10 人	15 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・施設周辺の病院についてはかかりつけ医とされているご利用者も多く、密に連携がとれている。 ・感染対策をとりながらサービス担当者会議を実施し、多職種との連携をとれる機会を設けていた。 ・地域包括支援センターと連携をとり、ご利用者の相談や紹介(受け入れ)を行ってきた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・コロナ禍もあり地域の活動自体が開催されていないことも多かった。 ・各ご利用者の地域の活動について、まだまだ把握できていない事も多い。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・小さな体調の変化を見落とさず、看護、介護で連携をとりながら支援していく。 ・コロナ禍でも再開されつつある地域での活動やイベントを把握し、参加可能な活動をみつけていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和４年　11 月 7 日（　19:00　～　20:　25　）
７．運営	ﾒﾝﾊﾞｰ	小福田、山本、三崎、近藤、戸田、安達、浅野、出原、山田早、赤松、松本、前原、和田、東条、山田暁

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1 人	5 人	6 人	3 人	15 人

前回の改善計画
・ご利用者、ご家族に向けてアンケートを実施し、頂いたご意見を真摯に受け止め、かたらい会議で話し合いサービスの質の向上に繋げて行く。 ・運営推進会議でいただいたご意見について、かたらい会議でも話合い、取り組みを検討していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・アンケート実施し７割以上の返答をいただいた。 ・コロナ禍ではあるが運営推進会議を開催し、地域の方からの意見を取り入れる場を設けている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	0 人	5 人	6 人	4 人	15 人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2 人	8 人	4 人	1 人	15 人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1 人	7 人	4 人	3 人	15 人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1 人	4 人	6 人	4 人	15 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご家族、ご利用者から聞いた意見、苦情などは夕礼時や会議にて取り上げ、職員間で話し合い対応するようにしている。 ・地域推進委員会を２か月に１回開催している。コロナ禍で書面開催になることもあるが、感染対策をとりながら地域の方に集まっていただきご意見をいただいている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・アンケート結果において職員間での共有が出来ていなかった。 ・地域の方との関わりについて職員の間でも個人差がある。 ・コロナ禍の影響で、地域に必要とされる事業所である為の活動や取り組みが出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・今年もアンケートを実施し、ご利用者やご家族からの意見を職員間で共有していく。 ・地域推進委員会など地域から出た意見を会議で議案として挙げ検討していくことで、地域に必要とされる事業所を目指す。	

８．質を向上するための取組み	ﾒﾝﾊﾞｰ　小福田、山本、三崎、近藤、戸田、安達、浅野、出原、山田早、赤松、松本、前原、和田、東条、山田暁

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1 人	12 人	2 人	人	15 人

前回の改善計画

・起きた事故に対する問題改善報告書だけでなく、事故が起きる前のヒヤリハット報告に注目し、防止策や対策を考える機会をつくる。
・今後もみおつくし（法人理念）を読み合わせ、職員間で助け合える思いやりを持ったチームになるよう心掛ける。

前回の改善計画に対する取組み結果

・月１回の会議にて１項目ずつみおつくし(法人理念)の読み合わせを行い、その項目について職員の考えを発表するなど、繰り返し法人理念の確認を行えている。
・ヒヤリハットの報告は上がっているが、振り返りや対応策を検討する時期が遅いときがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	0 人	9 人	3 人	3 人	15 人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0 人	1 人	5 人	9 人	15 人
③	地域連絡会に参加していますか	0 人	2 人	3 人	10 人	15 人
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	0 人	9 人	3 人	3 人	15 人

できている点　200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・事業所内研修にてリスクマネジメントを学び、自己を振り返る機会にしている。
・事業所内研修がコロナ禍でオンライン研修になっているため、個々の時間に合わせて視聴する事が出来、研修に参加できる職員が増えている。

できていない点　200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・ヒヤリハットの報告は上がっているが、内容についての分析や対応策を職員間で相談することが遅くなってしまっている。
・事業所内の研修には参加出来ているが、事業所外の研修には参加できていない現状にある。

次回までの具体的な改善計画　（200 字以内）

・岡山県小規模連絡会の研修に参加し、他事業所での取り組みを勉強したり個人のスキルアップに繋げていく。
・ヒヤリハット、問題改善報告書が挙がった際には当日の夕礼で議題にあげ、対応策を即座に検討していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和４年　11 月 7 日(　19:00　～　20:　25　)
９．人権・プライバシー	ﾒﾝﾊﾞｰ	小福田、山本、三崎、近藤、戸田、安達、浅野、出原、山田早、赤松、松本、前原、和田、東条、山田暁

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1 人	13 人	1 人	0 人	15 人

前回の改善計画
・法人理念にのっとり、高齢者の人権尊重を第一とする立場にある事を再認識し、適切な接遇を実践する。 ・自分自身がされて嫌な思いや不快な思いをする言葉かけや態度をとっていないか都度見つめ直す。
前回の改善計画に対する取組み結果
・法人内研修や毎月の部署会議で行っている法人理念(みおつくし)の読み返しにより、自身を振り返ることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	9 人	6 人	0 人	0 人	15 人
②	虐待は行われていない	12 人	3 人	0 人	0 人	15 人
③	プライバシーが守られている	2 人	12 人	1 人	0 人	15 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	7 人	5 人	0 人	3 人	15 人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3 人	12 人	0 人	0 人	15 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・法人内の研修にて身体拘束や虐待について学び、自身を振り返るようにしている。 ・身体拘束、虐待をしないという意識で利用者に関わっている。 ・危険防止の為センサーマットの設置等止むを得ない場合もあるが、必ず職員で協議してから行っている。 ・成年後見制度を利用している方に対して、後見人の方と連携して支援を行えている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・耳の遠いご利用者に対し、トイレなどの声かけが無意識に大きな声になってしまっていることがある為、プライバシーの配慮に欠けている部分がある。 ・職員が手薄になっている時に「ちょっと待って」という言葉が多くなり、行動制限をしてしまっていることがある。 ・認知症状のあるご利用者に対して意思の尊重が出来ていなかったり、言葉遣いが適切ではない事がある。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・法人内研修などを受ける事で「虐待」「身体拘束」「プライバシー」についての再確認を行い、自己を振り返る。 ・自分をご利用者やご家族の立場に置き換えて考え、『自分だったらこうしてもらいたいたくない』という思いを持って対応していく。	

規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	社会福祉法人 幸輝会	代表者	国富　隆夫
事業所名	かたらい	管理者	小福田　由香

法人・事業所の特徴	・「出会えて良かった」と思ってもらえる場所を目指して～ 一人ひとりに寄り添い笑顔を育む ～を事業目標とし、ご利用者がいつまでも住み慣れた地域で暮らしていけるよう、一人ひとりに合わせて「通い」「訪問」「宿泊」といった各サービスを検討するように心掛けています。生活や暮らし全体を通して『困っていることは何か？』『生活を成り立たせる為に必要なことは何か？』を見極め、柔軟なサービス提供を行っています。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援ｾﾝﾀｰ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	6 人	0 人	0 人	1 人	人	4 人	人	11 人

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み･結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の確認	・事業所が示した①～⑨迄の改善計画に則り取り組んでいく。 ・ご利用者やご家族、職員にも向けてアンケートを実施し、サービスの質の向上を図る。	・アンケートを実施し、7 割程の返答があった。お褒めの言葉や感謝も多かったが、具体的な改善案の記入もあった。		・今年度もアンケートを実施し、自己の振り返りを行っていく。
B．事業所のしつらえ・環境	・急な通いや宿泊の希望にも適切に対応することができるよう、共同生活室と宿泊室等の室内環境の整備を進める。（不要物を撤去、危険個所の改善など）	・急な宿泊希望時、パーテーションを使用しプライバシーに配慮する形で対応した。結果、今年度は急な支援内容の変更をお断りすることなく対応出来た。		・事業所の設備に不具合がないか定期的に点検や修繕をし、過ごしやすい生活空間を作る。
C．事業所と地域のかかわり	・地域とのつながりが途絶えてしまわないよう、地域の代表の方々のご意見を収集し、実現可能な地域との関わりを検討していく。	・地域活動自体が中止になっており、参加出来る活動が少なかった。 ・訪問時や送迎時に地域住民の方に挨拶を行い、事業所を知っていただくよう心掛けた。	・コロナ禍の影響で、少しずつ地域活動も再開しつつあるが、まだまだ中止になる活動も多い現状にある。	・利用者様の生活してきた環境を理解して地域との関係性を継続できるように支援する。
D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・密を避けつつ機会を見ては気分転換の外出を実施する。 ・引き続きご利用者の生活に関わりのある方を中心に積極的に情報共有を行っていく。	・外出について感染対策に配慮し、数日間に分けて少人数で行う等しながら可能な限り行った。前年度に比べ実施回数も増え、ご利用者にも好評だった。		・今年度も可能な範囲で外出行事を計画するとともに、季節感のある行事内容やレリエーション活動用を実施する
E．運営推進会議を活かした取組み	・会議や書面でも活動報告を続けていく。委員の皆様のご意見を集約し、地域課題解決に役立つ取組みを検討していく。	・コロナ禍ではあったが、可能な限り会議を開催し、委員の方の意見を聞かせていただいた。		・会議で出た意見を職員間で共有する。また、地域課題を知る為の情報共有の場にしていく。
F．事業所の防災・災害対策	・事業継続計画を策定しつつ、地域の方々に事業所が対応可能な範囲を具体的に示し非常災害時の対策を共有していく。	・災害時の地域の避難場所に指定されており、備蓄等の準備は出来ている。ただ、具体的な避難案がまだ確立出来ていない。	・非常災害のレベルに合わせた避難方法を具体化させる必要があるのではないか。地域と施設で自営防衛組織を作ってみてはどうか。	・地域の方と話合いを進め、避難時の受け入れ可能人数等、対応可能な範囲を具体的に示していく。